

南信州広域連合第5回広域連合会議 結果報告

日時：令和8年8月20日(木) 16:30～17:18

場所：県飯田合同庁舎 301 号会議室

【出席者】14 市町村長管理者

〔JR 東海中央新幹線長野工事事務所〕 小池所長

〔長野県建設部リニア整備推進局〕 村松次長

〔飯田税務署〕 関谷署長

〔南信州地域振興局〕 大日方局長

〔飯田建設事務所〕 折井所長

〔飯田保健福祉事務所〕 岩本所長、唐木副所長

〔下伊那郡町村会事務局〕 岡庭局長

〔飯田広域消防〕 下平消防長、熊谷消防次長兼総務課長、中本消防次長兼警防課長

〔環境センター〕 関島事務長

〔事務局〕 吉川事務局長・滝沢事務局次長兼総務課長

乾地域医療福祉連携課長兼医療福祉連携係長・金田広域振興係長

渡邊広域振興係企画調整担当専門主査

熊谷補佐兼庶務係長・幾島庶務係主事・久保田庶務係主事

1 開会…16 時 30 分

2 広域連合長挨拶

8 月 9 日投開票の泰阜村村長選挙で横前村長が当選された。後ほどご挨拶をいただきたいと思う。7 月 28 日発災の熊本地震、先週の千葉豪雨と全国的に大きな災害の報道が続いている。熊本地震では 8 月 16 日から 8 月 20 日の活動期間でチーム長野の一員として、飯田市から 2 人、松川町、高森町から 1 人ずつ職員が現地に派遣されている。また市立病院の医師が DMAT として、また臨床検査技師も既に派遣されており、DMAT については第 2 弾もあるため、支援が長期化することも想定される。引き続きチーム長野の一員としてこの地域から職員の派遣ということがあるかと思うが、ご協力をお願いしたい。また、南信濃で大きな火災がありご心配をおかけした。幸い人的被害はなかったが、消火までに 4 時間以上かかり、一時山への延焼が心配されたが、おかげさまでそこまでいかに消し止めることができた。非常に久しぶりに大きな火災があった。改めてそれぞれの市町村でも防火についてもお気をつけいただきたいと思う。

（泰阜村長挨拶）

8 月 9 日投開票で泰阜村長選挙が行われ、再選を果たすことができた。ここにおられる皆様方から温かい激励の言葉などをいただき、誠にありがとうございました。1 回目は選挙、2 回目は無投票で、今回選挙ということになった。無投票ほどいいものはないなということがよくわかった。選挙をやった方が良いということとはよく言われるが、この暑い時期に 5 日間遊説して回ると体力も使う。大変暑かったということもあり、2 度とこういうことはやりたくないと思った。いずれにしても、皆様方のおかげでこの度帰ってくることができた。これからは地域振興のために微力ではあるが皆様とともに、しっかりと取り組んでいきたいと思っているので引き続きのご指導を賜りたい。

3 協議・報告事項

(1) リニア中央新幹線について（県リニア整備推進局、JR 東海中央新幹線長野工事事務所）

【村松リニア整備推進局次長】～資料 No.1～

7月31日にリニアバレー構想の実現に向けた取組に係る市町村説明会を開催。今後の予定としては、8月24日にリニア中央新幹線建設促進長野県協議会総会を開催。要請書を JR 東海副社長に手交する予定。10月27日に第1回有識者勉強会を南信州地域を会場に開催予定。また、知事と JR 東海社長のトップ会談を開催予定（日程調整中）。

【小池 JR 東海中央新幹線長野工事事務所所長】～当日配布資料～

7月18日に松川町あらい祇園祭へリニアブース出展。7月28日に伊那山地トンネル青木川工区の工事現場に信濃毎日新聞飯田下伊那専売店会主催の長野県子供新聞コンクール作品作成ツアーに工事共同体とともに協力し、伊那山地トンネル青木川工区の工事現場へ小学生12人を招待。8月15日から16日にかけて中川村大鹿村信州ステージ第5戦中川村小渋ダムグランプリ、信州ステージ第6戦大鹿村大西グランプリの運営に協力。

（主な意見等）

連合長：10月27日の有識者勉強会については案内があるということか。

村松次長：改めてご案内させていただく。

高森町長：リニア中央新幹線の総会で決議される JR 東海への要望事項は事前にもう市町村に回っているか。

村松次長：今回は時間の都合もあり、書面で事前承認という形でお願いをしており、各協議会のメンバーから既に承認をいただいている。

高森町長：承知した。

(2) 税務署からのお知らせ

【関谷飯田税務署長】～当日配布資料～

キャッシュレス納付について資料を基に説明がなされた。

近年行政手続き全般のデジタル化が進んでおり、税申告は e-Tax へ、税の納付についても e-Tax や eLTAX へ移行している。特に、納付の機会が頻繁にある源泉所得税をキャッシュレス納付に切り替えることで、事務効率が向上する。また、e-Tax ダイレクトを利用することで、指定口座から納付期日自動引き落としも可能で、納付漏れの防止につながる。税務署の窓口は、総務課長が対応し、連絡があれば職員が自治体に赴き、キャッシュレス納付の体験版を案内することも可能。

（主な意見等）

連合長：税務事務担当者にも話をしていただきたい。まだ未導入のところは飯田税務署の総務課長にご連絡をとること。

(3) 令和8年度南信州広域連合議会第2回臨時会、全員協議会について

【滝沢次長】～資料 No.2～

令和8年度南信州広域連合議会第2回臨時会、全員協議会について資料を基に説明がなされた。

開催日時：8月25日（火）午前10時

開催場所：はにかむベース

予定付議案件：報告2件、条例案件1件、予算案件2件

全員協議会説明案件

- ア リニア中央新幹線について
- イ 産業振興と人材育成の拠点（エス・バード）の運営状況について
- ウ 旧桐林クリーンセンター跡利用について
- エ 信州大学との連携について
- オ 「介護のしごと相談会」開催報告について
- カ 飯田広域消防本部から

→質疑等なし

(4) 飯田短期大学保健師養成課程との連携事業について 【吉川事務局長】～資料No.3～

飯田短期大学保健師養成課程との連携事業について資料を基に説明がなされた。

4月16日に3者で締結した協定に基づき、行政保健師を希望する看護師の有資格者を募集し、1年間飯田短期大学の地域看護学専攻で学び、資格取得後に市町村の保健師として勤務する取組。令和8年度は、平谷村、根羽村、天龍村の3村が募集を行う。募集期間は、10月9日（金）まで。既にホームページ等で募集を行っているほか長野県看護協会の協力で、県内の有資格者全員に対してメールで本件の広報を行っている。天龍村と根羽村は広域連合から支給を予定している修学資金に上乗せして、村独自の修学資金を給付する予定。

→質疑等なし

(5) 南信州地域・信州大学連携推進協議会の総会について 【吉川事務局長】～資料No.4～

南信州地域・信州大学連携推進協議会の総会について資料を基に説明がなされた。

協議会では、令和8年度は信州大学をはじめ飯田短期大学、飯田コアカレッジなどと連携し、地域の高等教育環境の更なる充実に向けて幅広く研究・検討を行うとともに、四年制大学の設置実現と地域の発展を目指して産学官金が連携して取り組む。事業計画の案としては、高校卒業者数の減少や進学率の増加、地元就職をする学生等の割合の減少傾向など、地域の現状を踏まえ、四年制大学の設置の実現に向けてより広い視点で様々な研究を進めるとともに、地元高校や高等教育機関と連携し、南信州地域の高等教育環境の更なる充実に向けた検討を行う。また、当日は参考資料として、人口動態、高校卒業者の進路状況や回帰定着率の推移が示された。

→質疑等なし

(6) 飯田広域消防から 【中本警防課長】～資料No.5～

大型水槽付き放水車の配備について資料を基に説明がなされた。

ア 配備の経緯

令和7年2月発生の岩手県大船渡市での林野火災等を契機に、総務省消防庁において大規模林野火災に対応する体制強化の方針が示され、これに基づき、令和8年度に全国で6台配備されるうちの1台が、総務省

消防庁から飯田広域消防へ無償で配備されることになった。

イ 配備における効果

車両には 10,000 リットルの水を積載可能であり、中央自動車道や三遠南信自動車道、リニア中央新幹線に係るトンネル工事現場をはじめ、水利確保が困難な場所で大きな効果を発揮する。具体的には、消火栓や防火水槽、自然水利からのシャトル給水による他車両への給水拠点としての機能。上部放水銃による遠隔操作での走行放水の対応が可能。これらにより、初期消火及び火勢拡大防止を効果的に行い、管内の消防力を大幅に強化する。

ウ 車両の仕様

乗車定員 3 人。車両総重量 20 トン未満。B-2 級のポンプ、有線・無線操作可能な放水銃等を備える。

エ 配備先・配備次期

配備先：高森消防署

配備次期：令和 9 年 3 月末（車両調達の遅れにより令和 9 年度にずれ込む可能性あり）

※現在高森消防署に配備されている 5 トン水槽車の更新とする予定。

（主な意見等）

松川町長：現在高森署には 5 トン車が配備されているが、その車両でも松川町の中で進入が困難な場合や進入ができない場合があるが、積載容量が倍の 10 トンのこの車両が実際入ってくることはできるのか。水量が増えることはよいことだと思う。

中本警防課長：実際には車幅はほぼ変わりがないが、車長が 40～50 センチメートルほど長くなる。問題は車幅だと思う。10 トン車の場合でもおそらく進入可能不可能なところというのはさほど変わらないのではないかという予想はしている。確かに今の 5 トン水槽車も入れないところがあり、私の経験だと出動していくが、狭くて入れないということで、途中で車を置いたりだとか出動の際に現場を確認して、狭隘で進入できないため、そもそも出動しないという事例はある。

松川町長：現場に行くと、5 トン水槽車が来てくれることで非常に助かる。更新されたことで進入できなくなった場合に、どのように消火したら良いのかと思う。水利があるところなら良いが、水利のない時に心配だということは検討していただきたいと思う。ありがたいことではあるのだが。

(7) その他

ア 南信州公式インフルエンサーの募集について

【金田広域振興係長】～資料なし～

南信州公式インフルエンサーの募集について資料を基に説明がなされた。

南信州公式インフルエンサーの募集を 7 月 17 日から 8 月 17 日まで行った。5 人程度の募集に 6 人の応募があった。内訳は、飯田市在住者 2 人、宮田村在住者 1 人、東京都在住者 2 人、オーストラリア在住者 1 人。現在一次選考の書類審査を行っている。二次選考の面談審査を 8 月 27 日と 28 日に行い最終決定を行う予定。審査結果を 9 月の広域連合会議で報告する。

→質疑等なし

4 長野県

(1) 南信州地域振興局

知事選へのご協力ありがとうございました。投票率はそこまで高くはなかったが、投票率も大きく落ちなかった。

(2) 飯田建設事務所

特になし

(3) 飯田保健福祉事務所

ア 新たな地域医療構想及び保健医療計画に関する委員会

【岩本所長】～資料 No.6-1～

7月29日に将来の医療構想会議と医療計画について審議する医療審議会が長野県主催で行われた。長野県の現行の地域医療構想における構想区域の設定状況は、10区域で整理されているが、この10区域を7区域、5区域、4区域のいずれかに再整理することが議題。南信州圏域から出席した委員は5区域のパターンを支持し、他の圏域の委員からも好意的な声があった。一方で、2040年問題を考慮し、4区域を支持する意見もあったが、飯伊地区の特殊な事情等を考慮に入れると、5区域のパターンで進めるのが良いのではないかという意見が大勢だった。構想区域の急性期の拠点の考え方の資料では参考として、中核となる機能を持つと考えられる医療機関が示されたが、北信・東信・中信・南信で整理されており、事務局では4つの区域を想定している模様。今後、10月から11月にかけて地域医療構想会議が開かれるが、その際の議論では積極的に5区域のパターンを押すような形で進んでいければと考えている。今回の地域医療構想会議は、飯伊地区を独立させるかどうかというところが今後のポイント。

(主な意見等)

連合長：今おっしゃっていただいたように5区域のパターンを主張したいと思う。県の事務局には、数字を整理したときに4区域のパターンだという思いがあるかもしれない。しかし、現実問題として、諏訪赤十字病院を中核病院としてこの4区域のパターンを考えるというのは、南信州地域の医療の現状からかけ離れている。また、2040年を見据えたときには、この地域にはリニア中央新幹線が開通している時期になるが、そこに拠点病院がないということは、県の医療政策として、非常に視点が欠如していると言わざるを得ないと思う。5区域のパターンで主張したいと思う。

豊丘村長：去年までは町村会の代表として出席していた。その当時から北信の方の医師は、飯田市立病院がいわゆる二次医療ではなく一次医療になる危険があるということを言っていた。連合長の言うとおりの頃には既にリニア中央新幹線が通っていて、この地域が非常に大事なところになると思うので、市立病院はこの地域の中核病院として残していけるようにみんなで頑張っていかなければいけないと思う。

岩本所長：統計や見込みについては、比較的正確な数字が出てくるが、その数字をもとにどのような体制にするのかということは地域の感情論もあり、地域の特徴もある。その部分を汲んでもらわないといけない。次の地域医療構想会議では忌憚のない意見を聞きたいというのが、この資料が保健所長会議で説明された際にあった発言。

イ 災害時の保健医療福祉活動について

【唐木副所長】～資料 No.6-2～

10 年前の熊本地震の折に救護所などへの医療班の派遣調整の対応が市町村単位ではなく、都道府県が会議体を設けて行うことになった。能登半島地震からは、発災後 72 時間とされていた都道府県の会議体の立ち上げ時期が発災直後からと国の方針が改められた。長野県においても、令和 8 年 3 月に県の地域防災計画及び県災害医療活動指針の改定が行われ、大規模災害時には 10 圏域の保健福祉事務所が災害時保健医療福祉調整地域本部として位置づけられた。南信州地域においては、大規模災害に被災した際には県の災害対策本部、南信州地域に保健医療福祉分野のプログラム、行政機能を担う保健医療福祉調整地域本部が立ち上げられ、市町村保健福祉部門と連絡を取りながら、地域の保健医療福祉活動の調整を行う。特に医療面において、現在は発災後 72 時間の間は包括医療協議会（飯田医師会）が中心となり担うとされている医療班の市町村への派遣調整や外部からの応援者の派遣調整等の業務は今後は飯田医師会等の助言を受けながら保健福祉事務所が中心となって担うことになる。現在保健福祉事務所ではこうした状況に対応すべく、年度内を目途に初動体制、マニュアル化、アクションカードの整備等に取り組んでいるところ。今後、包括医療協議会においても策定済みの現行の大規模災害医療救護計画についての改定をお願いしていく。

→質疑等なし

5 当面の日程について

8 月 25 日（火）10 時 00 分 議会第 2 回臨時会及び全員協議会（はにかむべーす多目的ホール）

9 月 11 日（金） 広域連合会議（県合庁 301）終了後各専門部会

6 その他

7 閉会…17 時 18 分